

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	一人ひとりのペースに合わせて支援しているが、その場の対応に追われてしまい、趣味や好きな活動などは希望に沿えないで過ぎてしまうことが多い。	利用者の思いを汲み取り、希望に沿った対応ができる。	認知症ケア研修やユニット会議を通じ、利用者一人ひとりのことを職員全員で話し合い意識の統一を図る。利用者の希望に沿った対応が実行できるようにする。	12ヶ月
2	34	火災や地震のみならず、水害を想定した実践的な訓練も定期的実施する。	定期的に訓練を行い、利用者を安全に避難誘導できる体制を職員全員が身につける。	施設全体での訓練の他、グループホーム内でも定期的に訓練を行うよう計画を立てる。運営推進会議などで近隣住民との交流も図れるように努める。	12ヶ月
3	33	救急時対応方法のマニュアルはあるが、実際に事故・急変があった際、状態に即した対応を行えるか不安がある。緊急時に即した対応を、職員全員が身につけられるような取り組みを行う。	事故や急変時、職員全員が落ち着いて迅速に対応できるようにする。	心肺蘇生方法などの研修を併設の介護老人保健施設へ協力を依頼し実施する。ユニット会議時に緊急時のマニュアルを定期的に確認する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。